

## 1 活動名

農福連携先進事業所視察（浜松市 京丸園）

## 2 調査の目的

- (1) 本市における課題  
農業と福祉の連携ということでは取組みが弱いと思われます。
- (2) 調査の必要性  
農業という作業に、障がいのある人たちをどのようにして活かしているのか、実際の現場を見る必要性があります。
- (3) 調査項目
  - ①ユニバーサル農業の考え方について
  - ②会社の経営状況について

## 3 調査地選定理由

浜松市では平成 17 年よりユニバーサル農業研究会を発足し、様々な連携モデルが生まれていることから視察地として選定しました。

## 4 調査結果

- (1) 実施日 平成 30 年 6 月 25 日
- (2) 出席者 2 名 近藤晴彦 勝野智行
- (3) 浜松市（京丸園）

京丸園は平成 29 年 10 月時点で、総従業員数 89 名、その内障がい者は 24 名となっています。障がいは、知的 9 名、身体 6 名、精神 5 名、発達 4 名ということで様々です。障がい者の雇用人数の増加と合わせて売り上げを伸ばしてきており、連携が本当にうまく機能しています。考え方の基本は、それぞれの障がい者がどうやれば作業を行えるかを徹底して考えるということであるとのことです。そのことにより、これまでは意識していなかったことに社員全員が気付き、会社全体としての雰囲気と効率が上がっています。会社の経営状況はよく、今後の事業拡大を検討中です。

- (4) 成果・所感等

農福連携は農業者側の考え方に大きく左右されることがわかりました。一般的には、やはりこれまでの自分の経験が優先し、障がい者への配慮を行うことは大変であろうと思います。そのことは、京丸園でも最初のころは同様でしたが、経営者の考えが変わったことにより、急速に事業展開が進んでいます。本市の農福連携の拡大に大いに参考になりました。是非、経営側の皆さんに同園の視察をしていただきたいと強く感じました。農政部、健康福祉部にも提言していきたいと思います。

## 5 政務活動費

- (1) 使途項目 調査旅費
- (2) 支出額 浜松市と同様